

完走回数のカウント方式について

フル百回楽走会は、「フルマラソンを生涯で沢山走ろう」と言う目標で、1987年10月10日に「フルマラソン会」として誕生しました。そして1988年3月1日から「生涯にフルマラソン100回完走を目指そう」と言う目標数値を決めた「フル百回楽走会」に改称して、現在に至りました。

100回完走を目指す基準は、フルマラソンだけでしたが、その後の状況で現在の幅まで広がりました。現在は

- ① フルカウント＝フルマラソン完走だけで100回や200回を目指す方式
- ② メガカウント＝フルマラソンにウルトラマラソンの完走を加えて目指す方式

以上、2つのカウント方式がありますが、選択は個人の自由です。

会の表彰基準は、個人が選択した、いずれかのカウントの完走回数で行っています。

カウント方式の整理

フルマラソンとウルトラマラソンの完走の基準を22年を経過した今日以下に整理致します。これは、世界メガマラソンランキングに対応するためでもあります。

A, フルマラソンの完走回数

- ① フルマラソン(42.195km の距離の大会)
(イ)大会の規定内完走 (ロ) 時間オーバー完走
- ② ウルトラマラソンの種目変更で 42.195km の途中完走
- ③ 時間走大会の 42.195km の途中完走

B, ウルトラマラソンの完走回数

- ① ウルトラマラソン(42.195km の距離を越える距離の大会)
(イ) 大会の規定内完走 (ロ)時間オーバーの完走
(ハ) 42.195km を越える距離のウルトラ途中完走
- ③ 時間走大会の 42.195km を超える距離の完走

C, 長ウルトラマラソンやステージランの回数

2 日以上かかる大会で、ステージラン方式の大会は、1 日にフル又はフル以上の距離を走る場合は、ステージ毎に 1 回にカウントを認めます。

例えば、夜叉ヶ池伝説マラニック大会は、1 日目45km・2日目＝90km 合計135kmのウルトラマラニックですが、この大会のカウントは、(イ) 130kmのウルトラ1回 (ロ) 45kmと90kmのウルトラ2回 (ハ) 2回の種目変更フルマラソン等となりますが、個人選択です。

尚、ダブルフルマラソンとして開催された大会は、2回にカウント OK です。

解説＝ウルトラマラソン大会で種目変更のフルにカウントした大会は、ウルトラの完走回数から外して下さい。ウルトラマラソンの①(ハ)は、A②にカウントする事をお勧めします。いずれにしても1つの大会がダブルカウントしない事です。更に、カウントの基準を厳しくするか否かは、個人の自由です。

記録報告と国盗りマラソン大会について

年末に完走記録の報告が会の義務となっていますが、その報告方式は、大会開催日・大会名・開催県名・完走タイムとなっていますが、これに種目(フル&以上)を追加します。

- ① 開催日＝完走日(大会が2日以上かかる大会やウルトラ大会等のため)
- ② 大会名＝大会回数や大会名(6字位に短縮)
- ③ 種 目＝フル&フル以上の距離(端数不要)
- ④ タイム ＝時間:分::秒(秒までが望ましい。)
- ⑤ 開催地＝ゴール地点の都道府県名&海外は国名、2つの県以上にまたがる開催大会は、ゴール地点が完走日であり、開催地になります。国盗りを目指す方は、注意して下さい。

マラソン大会について

フルマラソンを完走する上で以下に大会基準を整理いたします。

日本の陸連の大会基準は、広く大会を呼びかけ、3人以上のエントリーで大会の開催が決まり、大会基準内で3人以上が規定の競技を終了した時に、その大会と記録が公認されるとなっています。

例えば、フルマラソン大会の場合、呼びかけて3人以上が出場し、制限時間が6時間以内の場合、6時間以内で3人が完走者した場合は、大会も成立し、記録も公認されるとなっていますが、2人以下の場合は、大会も成立せず、記録も後任されず、参考記録となり、認められないと解釈できる内容です。

フル百は、フルマラソン大会は、42.195kmの距離があれば、大会の大小を問わず、大会主催者や団体の大小に関係なく、開催された大会を尊重しています。

これがフル百回楽走会の「いつまでも大会に参加でき、完走でき、楽しめるため」の緩やかな大会&完走基準で行っています。

国内でもフルマラソン大会は、100大会以上を超えましたが、その距離が短い大会が、ままあります。人間がやることですから間違いは常です。距離がフルマラソンの42.195kmに足りない大会もフルマラソンと1回にカウントします。個人では、短い距離の大会は、ベスト記録から外す事をお勧めします。

フルマラソン大会は、3人以上のエントリーで開催し、3人未満の完走でも完走した人の記録は公認します。但し、エントリー3人で大会当日2名しか参加者がなかった場合は、公認しますが、参加が1人の場合は、公認しません。

ウルトラマラソン大会や42.195以上のマラニック大会、時間走大会もフルマラソン大会と同様です。

公認記録=オフィシャル・タイムについて

公認記録=海外のオフィシャル・タイムと同じですが、日本では、公認記録を陸連公認記録と多くの人が間違えて認識されています。公認記録の前に固有の名前が付きます。一般的には、〇〇大会実行委員会公認記録が正しい表現です。

公認記録とは、大会を主催した団体が、認めた記録です。

日本で一般に使われている公認記録は、正確には、「日本陸連の公認記録」です。日本陸連の公認記録を取得するには、先ず、日本陸連の登録会員になること。日本陸連が主催か協賛した大会で陸連が認めた陸連公認コースで陸連陸連公認の部に出場し、規定の基準内で競技を終了する事です。

海外マラソン大会の完走記録は、陸連の公認記録ではありません。オリンピックや世界選手権大会なども陸連の公認記録ではありません。但し、陸連が特別に公認記録に認定すれば、この限りではありません。